

## 須坂市教育委員会 7月定例会 【会議録】

1 日 時 2021年7月30日（金）午後2時00分～午後4時00分

2 場 所 市役所305会議室

3 出席した委員

教育長	小林 雅彦
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	土屋 保男
教育委員	水上 智恵
教育委員	山下美知子

4 説明のため出席した職員

教育次長	清水 秀一
学校教育課長	中村 健司
子ども課長	小林 昌幸
人権同和教育課長	牧 俊彦
学校給食センター所長	北堀 智
文化スポーツ課長	田中 賢一
生涯学習推進課長	山岸 一延
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	竹前 金三
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅

5 事務局出席職員

庶務係長	小林 貴彦
庶務係担当係長	安川 尚義

6 本日の会議に付した事項

(1) 学校等の状況報告について  
家庭学習の手引きについて

(2) 議 題

- 議案第 26 号 須坂市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について  
議案第 27 号 須坂市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について

(3) 協 議

(4) 一般行政報告

- ① 教育長出席行事の報告について
- ② 行事共催等承認の報告について
- ③ 6月定例市議会報告について
- ④ 一人一台端末の持ち帰りについて

(5) その他

- ① 教育委員会行事予定について
  - ② 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
  - ③ 運動会・文化祭の出席について
  - ④ 人権問題学習会について
  - ⑤ その他
- 

小林教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求めた。

(1) 学校等の状況報告

後藤主任指導主事が学校等の状況について説明した。

- ・児童生徒の欠席（30日以上）状況について、小学校の6月現在8人、中学校24人。
- ・学年別不登校者数では、昨年比べて中1ギャップが解消しているように見える。中1ギャップは、毎年必ずあるという見方ではなく、その学年によって上下している状況がある。
- ・虐待の件数 令和2年度は小中学校で39件。子ども課から児童相談所に通報している。中に警察にも通報して対応いただいたケースもあった。
- ・学校から関係機関への通告の義務については、学校から保護者に通知を出して周知している。

竹前指導主事が教育相談申し込み状況について説明した。

- ・申し込み 60 人。小学校 55 人、中学校 5 人。
- ・児童生徒の適切な学びの場として校内教育支援委員会の意見
  - 【小学校】特別支援学 4 人、特別支援学級（知障）13 人、特別支援学級（自情障）27 人、通級（LD 等）9 人、通級（ことば）1 人、通級（肢体不自由）1 人。
  - 【中学校】特別支援学級（自情障）2 人、通級 LD 等 3 人
- ・昨年度の申し込み 55 人とくらべ、若干増加。
- ・来入児は 12 人。内訳は、特別支援学校（知障 2 人、肢体不自由 1 人）、特別支援学級（知障 4 人、自情障 4 人、肢体不自由 1 人）

## （2）家庭学習の手引き

西原校長（井上小学校）が家庭学習の手引きについて説明した。

- ・この度、小中学校の児童生徒にタブレット端末が 1 人 1 台配備されたことに合わせて、ICT を活用した家庭学習の手引きを改定し、夏休み前に各家庭に配布した。
- ・手引書の内容は、保護者にも分かりやすいように QR コードを掲載して、動画でも説明が見られるようにしている。

北村指導主事：

- ・手引書は改定委員会で 10 人に先生に半年間協力いただき改定した。今後、学校の学習内容も変わっていくため、定期的に見直ししていく。

二ノ宮代理：

- ・子たちの中で、タブレットの操作に関して個人差はあるか。

→西原校長

- ・操作に関しては子ども達の能力差はほとんどない。やっていく中でどんどんできるようになっていく。柔軟に自ら使いこなしている。
- ・1 年生でも校長講和の感想をキー入力（ひらがな）ができる。3 年生以上はほぼできる。4 年生では全員がローマ字入力している。

## 2 議 題

議案第 26 号 須坂市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第 27 号 須坂市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について

教育長からの求めで、議案第 26 号から第 27 号まで一括して、担当課長が説明した。それぞれ特に意見・質問無く、承認された。

### 3 協 議

第 2 回須坂市子どものあり方検討会議を聴講した意見・感想

二ノ宮代理：

- ・小中学生の生の意見が聞けた。「学校はあった方がよいか」「先生はいた方がよいか」という質問で、子ども達からは否定的な意見がなかったことにほっとした。
- ・児童生徒から他の学校と繋がる、交流したいとの意見が多くあった。高甫小学校等、すでに英語の授業で交流している学校もある。今後も広まっていくとよい。
- ・中学校では生徒に GIGA 委員がいて、得意な生徒が他の生徒に教えているとの話は新鮮だった。
- ・討論に参加した児童生徒はすばらしい優秀な子達ばかりだったので、そうでない子達の意見も聞いてみたかった。

水上委員：

- ・保護者としても、子ども達の意見に考えさせられものがあった。
- ・勉強が苦手な生徒の意見も聞きたいと感じた。

土屋委員：

- ・小学 4 年生でも大人の中で自分の意見を立派に発表していた。
- ・豊洲小学校の自由進度学習の取組みは、児童には好意的だが、一方で先生が予定通り授業を進められるのか不安を感じた。
- ・タブレットの使い方について、子ども達が自らルールを決めるという意見を嬉しく感じた。
- ・先生の存在について、いじめ等、生活面での相談相手としての意見がなかったことに若干不安を感じた。

山下委員：

- ・参加した児童生徒はしっかりした意見を発表していた。参加できなかった他の子の意見も聞いてみたい。
- ・子ども達が学校の存在を肯定的に感じているのは、子ども達にとって学校が安心できる場所という認識があるのではないか。
- ・子ども達は学校をコミュニケーションの場としても捉え、その先の社会も見据え

て学校生活を送っている。

#### 4 一般行政報告

##### (1) 教育長出席行事の報告について

教育長が主だった出席行事について説明した。

- ・ 7月 17 日博物館リニューアルオープンセレモニーで、県立歴史館笹本館長から「博物館は、市民が自分たちの過去と対話をして今を考え、未来に向かって動く礎になる場所」との話があった。学校教育においても大事な発想。
- ・ 丸ごと博物館構想をどう学校に結び付けていくか。先生たちや社会共創部等と協力しながら進めて行くことが大事。

##### (2) 行事共催等承認の報告について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

- ・ 後援事業が 5 件。新規 1 件、4 件は過去に後援の実績があるもの。

##### (3) 6 月定例市議会報告について

小林教育長が説明を求め、清水教育次長が説明した。

##### (4) 一人一台端末の持ち帰りについて

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

- ・ タブレット端末の持ち帰りについて、小学校 3 年生以上は原則毎日持ち帰り、家庭学習等に活用するよう学校に通知している。

#### 5 その他

##### (1) 教育委員会行事予定について

小林教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

次回定例会は 8 月 30 日（月）午後 2 時 00 分に決定した。

##### (2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

##### (3) 運動会・文化祭の出席について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

##### (4) 人権問題学習会について

小林教育長が説明を求め、牧人権同和教育課長が説明した。

(5) その他

小林教育長が説明を求め、各課長が説明した。

①成人イベントの開催

山岸生涯学習推進課長：

- ・1月に予定していた成人式がコロナのため中止となった。その代替イベントとして8月14日に百々川緑地でイベントを開催予定。

②職員の新型コロナ感染について

中村学校教育課長：

- ・市内中学校に勤務する職員の新型コロナウイルス感染が判明。学校は夏休み期間中であり、他の教職員との接触も限定的であったが、当該校では校内消毒を実施。

③職員の保育園での新型コロナ感染について

小林子ども課長：

- ・市内保育園に勤務する職員の新型コロナウイルス感染が判明。濃厚接触者については7月31日PCR検査を実施。8月1日の検査結果を踏まえて対応する。

小林教育長が閉会を宣した。